

たやちょうつつみ
田谷町堤遺跡

横浜市栄区 No.111 遺跡



1.調査区全景（南から）



2.道路部分調査状況（南から）



3.奈良・平安時代 大型掘立柱建物址（東から）



4.中世 かわらけ出土状況（東から）

●主な調査成果

田谷町堤遺跡では、五時期に渡る調査面で土坑、ピット、溝状遺構などの遺構が検出されました。中世～近世の遺構群は調査区全体で検出され、竪穴状遺構や井戸址なども見つかっています。奈良・平安時代の遺構では大型の掘立柱建物址が2棟、調査区の最も標高の高い場所で検出されています。遺物は中世～近世の陶磁器類のほか、素焼きの「かわらけ」や漆器碗・舟形などの木製品、金属製品などが出土しています。中世のかわらけは、1m四方ほどの範囲にほぼ完形の個体が十点近くまとまって廃棄された箇所を確認し、当時の水辺で何らかの「まじない」の様な行為をした痕跡ではないかと推定されます。また古墳時代後期の遺物では、完形の土師器杯が複数点、土坑の中から出土しています。

- 調査期間 2017年7月1日～2019年9月15日
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 高速横浜環状南線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、弥生
- 所在地 横浜市栄区田谷町
- 遺跡位置 JR大船駅から北西に約2.5kmの柏尾川支関谷川付近の微高地～低地上

